

気象庁55年長期再解析 全 観測データ不使用(JRA-55AMIP)

1. 識別情報

名称	気象庁55年長期再解析 全観測データ不使用(JRA-55AMIP)
略称	JRA-55AMIP
メタデータID	JRA55_AMIP20230727071614-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	情報基盤部数値予報課
組織名	気象庁
住所	日本, 105-8431, 東京都, 港区, 虎ノ門3-6-9
電子メールアドレス	jra@met.kishou.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	情報基盤部数値予報課
組織名	気象庁

4. データ作成者

名前	気候研究部
組織名	気象庁気象研究所

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

publication : 2014-10-01

7. データセット概要

7.1 序論

気象庁55年長期再解析（JRA-55）プロジェクトの一部として、気象研究所では、JRA-55同化システムで使用した全球大気モデルを用い、観測データを一切同化しない長期ラン実験を行った。このサブプロジェクトは、JRA-55AMIPと呼ばれ、JRA-55と同じ海面水温、海氷、温室効果ガス等の条件下で実施されており、モデルの系統誤差を把握することを目的としている。

なお、JRA-55AMIPデータの一部に誤りがあり、2015年6月3日にデータの差し替えを行った。詳細は「その他の品質情報」の項を参照。

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	1958-01-01
終了日	2012-12-31

7.4 地理的範囲

北限緯度	90
西限経度	-180
東限経度	180
南限緯度	-90

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	288	1.25 (deg)
column	145	1.25 (deg)
vertical	37	1-50 (hPa)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
----------	-------	--------

theme	Atmosphere	GCMD_science
theme	Aircraft, Balloons/Rockets, Earth Observation Satellites, In Situ Land-based Platforms, In Situ Ocean-based Platforms, Models >, Navigation Platforms	GCMD_platform
theme	Climate, Weather	GEOSS

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

長期再解析プロジェクト・ウェブサイト : <http://jra.kishou.go.jp/>

JRA-55 プロダクト利用手引書 (英文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_en.html#manual

JRA-55 プロダクト利用手引書 (和文) : http://jra.kishou.go.jp/JRA-55/index_ja.html#manual

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:232>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
GRIB	1	

8. 系譜情報

9. 品質等

JRA-55AMIPデータの一部に誤りがあり、2015年6月3日にデータの差し替えを行った。

差し替えを行ったファイルは以下の262ファイル

JRA-55AMIP/Hist/Daily/fcst_phy2m125/199902/ の下の全ファイル(226個)

JRA-55AMIP/Hist/Monthly/fcst_phy2m125/ の下の4ファイル

fcst_phy2m125.199902

fcst_phy2m125_var.199902

fcst_phy2m125.monthly.idx

fcst_phy2m125_var.monthly.idx

JRA-55AMIP/Hist/Monthly_diurnal/fcst_phy2m125/ の下の32ファイル

fcst_phy2m125.199902_{\$hh}

fcst_phy2ml25_var.199902_\${hh}

fcst_phy2ml25_\${hh}Z.monthly.idx

fcst_phy2ml25_var_\${hh}Z.monthly.idx

ここで \${hh}は 00,03,06,09,12,15,18,21

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. 本データ使用責任者の氏名・所属・連絡先を明らかにすること。
2. 本データを気象庁の許可無く第三者に提供しないこと。また、商業的な活動に利用しないこと。
3. 本データを利用した論文・報告文には、これを利用した旨を明記すること（下の「引用例」参照）。
4. 本データを利用した論文・報告文を作成した場合には、気象庁に写しを提出すること。

免責事項

気象庁は、本データについて細心の注意を払っておりますが、本データの信頼性について一切保証するものではありません。また利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても気象庁が責任を負うものではありません。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

本データを利用した論文・報告文には、これを利用した旨を明記すること（下の「引用例」参照）。

引用例

「利用したデータセットは気象庁55年長期再解析（JRA-55）プロジェクトにより提供されたものである。」

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上发表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献

Kobayashi, S., Y. Ota, Y. Harada, A. Ebita, M. Moriya, H. Onoda, K. Onogi, H. Kamahori, C. Kobayashi, H. Endo, K. Miyaoka, and K. Takahashi, 2015: The JRA-55 Reanalysis: General Specifications and Basic Characteristics. 93, 5-48, doi: 10.2151/jmsj.2015-001.